

花瀬大橋

田代町総務課編集

1,550部発行

No. 370

昭和59年6月号

基本台帳人口 昭和59年5月1日現在		前月との増減
男	2,054人	△ 6人
女	2,239人	△ 1人
計	4,293人	△ 7人
世帯数	1,456戸	9戸

花瀬大橋

工事進む

“花瀬公園をひとまたぎ”
昭和六十年三月の完成を
めざして、花瀬大橋の工事
が着々と進んでいます。

橋の総延長は百八十二メ
ートル、幅八・二五メー
トル、高さ二十メートルの
アーチ式で、総工費五億八千
万円をかけてつくられます。
県立花瀬自然公園の景観
をそこなわないよう、十分
配慮されており、これから
も橋の色等、協議が行なわ
れます。

田代町の

支出		59.3.31現在			
科 目	予 算 額	構 成 比	支 出 額	支 出 率	
議 会 費	48,503 ^冊	3.5 [%]	48,209 ^冊	99.4 [%]	
総 務 費	283,107	20.4	165,238	58.4	
民 生 費	90,259	6.5	87,628	97.1	
衛 生 費	44,694	3.2	40,995	91.7	
農 林 業 費	319,279	23.0	212,027	66.4	
商 工 水 産 費	3,435	0.3	3,375	98.3	
土 木 費	233,752	16.9	170,950	73.1	
消 防 費	48,724	3.5	43,905	90.1	
教 育 費	128,200	9.3	117,369	91.6	
災 害 復 旧 費	5,176	0.4	5,167	99.8	
公 債 費	174,478	12.6	173,373	99.4	
予 備 費	5,000	0.4	0	0	
歳 出 合 計	1,384,607	100.0	1,068,236	77.2	

3. 財産の状況

		59.3.31現在
区 分	金 額	
土 地	773,824 ^{m²}	
建 物	19,900 ^{m²}	
山 林	4,065,560 ^{m²}	
有 価 証 券	368,000 ^円	
出 資 金	5,259,797 ^円	
基 金	272,695,581 ^円	

4. 町債の状況

町債現在高（59.3.31現在） 1,188,400,962^円

5. 一時借入金及び繰替運用金の状況（59.3.31現在）

- (1) 一時借入金 な し
(2) 繰替運用金 な し

財政事情

1. 収入及支出の概況

収 入		59.3.31現在		
科 目	予 算 額	構 成 比	収 入 額	収 入 率
町 税	117,282 ^冊	8.5 [%]	117,494 ^冊	100.2 [%]
地 方 譲 与 税	18,000	1.3	20,821	115.7
自動車取得税交付金	8,000	0.6	8,742	109.3
地 方 交 付 税	673,737	48.6	718,048	106.6
交通安全対策特別交付金	1	—	0	0
分担金及び負担金	24,437	1.8	9,649	39.5
使用料及び手数料	12,226	0.9	12,187	99.7
国 庫 支 出 金	123,083	8.9	84,695	68.8
県 支 出 金	179,272	12.9	54,556	30.4
財 産 収 入	13,565	1.0	15,666	115.5
寄 付 金	2,531	0.2	2,530	100.0
繰 入 金	146	—	146	100.0
繰 越 金	81,058	5.8	81,058	100.0
諸 収 入	105,169	0.4 [%]	9,120	176.4 [%]
町 債	126,100	9.1	0	0
歳 入 合 計	1,384,607	100.0	1,134,712	82.0

2. 住民負担の状況

		59.3.31現在
科 目	予 算 額	人 口 1 人、当 り
町 民 税	41,269 ^冊	9,598 ^円
固 定 資 産 税	54,146	12,592
軽 自 動 車 税	3,196	743
計	98,611	22,933

昭和59年3月31日現在における、田代町の財政事情を公表します。

田代町の財産、お金の使われ方、町民一人あたりの税負担の割合など、数字に表わしてあります。このような機会に、田代町をちがった角度からみつめてみましょう。



第1ゲート 通過中

老いてますます元気
五月十日、さわやかな春の日射しとこちよい風のもとで、田代町老人ゲートボール大会が開催されました。町内各地区より十三チームが参加し、昔を思い出して、熱い戦いをくりひろげた結果北尾Aチームが優勝し、大優勝旗を手中におさめました。また、この大会の上位四チームは、佐多町で開催された南部地区老人ゲートボール大会に参加し、大いに健闘しました。

年をとっても、ゲートボールの試合中に見る、気合の入る方、ボールを追って走る姿等をみていると、とても老人とは思えないことが、よくあります。これからも、ますます元気で長生きしてください。

健康だより

「歯と口の健康を考えよう」

六月二日・九日迄は歯の健康を守る週間です。とかく歯の障害と言うと病気という認識が薄いのではないのでしょうか。むし歯も口内炎も病気であります。歯の予防は病気の予防です。普段、気にもしないと思いますが、死ぬまで自分の歯で食事が出来る、これも目に見えない幸福です。そこで歯のなくなる原因を考えてみますと、

一、むし歯 二、歯そう膿漏 三、事故 四、ガン 五、矯正治療

となりませんが、その大半は、むし歯と歯そう膿漏です。むし歯にならないようにするには、

① 食べ物をのどく・食後すぐに歯みがきをする。
② 歯みがきも、食事前に手を洗うと同様に習慣です。御飯を食べたら歯をみがく習慣を家族皆でつけたいものです。
③ 食物（柔らかくて、歯につきやすい物はさける。歯ぐき、あごがきたえられない。白砂糖はさける。甘い物の組み合わせはさける。ジュースと菓子）
④ むし歯にならない歯をつくる。

① フッ素の塗布
② 歯ができる時（胎児期）に栄養をとる。
③ 永久歯への芽ばえ（二）

④ 歯の健康診断を受けながら歯石を取り除いてもらう。又歯みがきだけでなく毎日歯ぐきにマッサージ、ブラシをかける。入れ歯の合わない物は合わせてもらなど、日常生活のちょっとした気づかいが健康の第一歩です。

⑤ みがく順番を決め、みがき残しをしない。
⑥ 又年に一回二回（誕生日にでも）歯の健康診断を受けながら歯石を取り除いてもらう。又歯みがきだけでなく毎日歯ぐきにマッサージ、ブラシをかける。入れ歯の合わない物は合わせてもらなど、日常生活のちょっとした気づかいが健康の第一歩です。

戸籍に関する情報は

ホームページ上では

掲載していません

小梅様 柳村様 宮園様 高文様 山子様
山子様 山子様 山子様 山子様 山子様

篤志寄附金
田代町社会福祉協議会
さきにご逝去されました御遺族より、社会福祉協議会に多額の御寄附を賜りました。厚く御礼申し上げますとともに、御冥福をお祈り致します。

あなたは加害者？ 被害者？

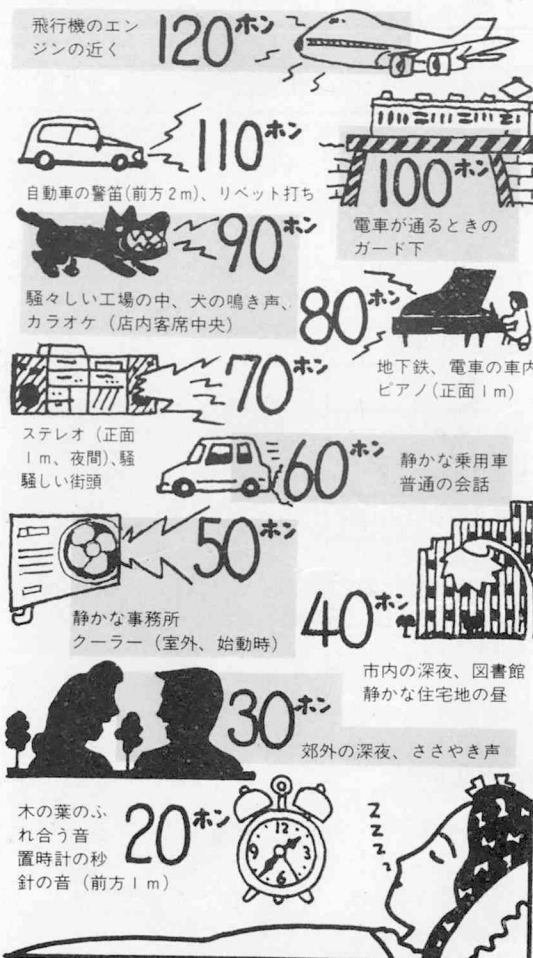


近隣騒音

みんなの迷惑

「隣のクーラーの音がうるさくて眠れない」「朝ゆっくり寝ていたいのだが、自動車の空ぶかし音で起こされてしまう」
近隣騒音。
「やめてくれ」と苦情を言いたいが、はっきり態度で示すとお互い気まずくなるのではないか、そうすると、近所だけに今後の付き合いに困るし……と、ついついガマンしてしまいます。確かに、近隣騒音は苦情を言う人も、言われる人もイヤなもの。お互い、不愉快な思いをしないためには、騒音の発生源にならないようにすることが第一です。
これから夏に向かって、あなたも身の回りの騒音の「元」をもう一度チェックしてください。

騒音の大きさの例



安眠に必要な静けさは40ホン以下

人間は人生の三分の一を寝て過ごすといわれますが、睡眠こそ、明日の活力を生む健康の源。ぐっすり眠って、一日の仕事の疲れを完全に取除いてしまいたいものです。そんなとき、近所からカラオケや人の

騒ぎ声が聞こえてきたらたまりません。なかなか寝付かれないイライラが、しまいには怒りへと変わってしまうでしょう。国立公衆衛生院次長・長田泰公さんの実験によると、睡眠に影響を及ぼす騒音の大きさは、図書館の中と同じくらい四十ホンからとか。眠っている人に四十ホンの騒音を一晚中聞かせ続ける臨床実験では、深い眠りが減って浅い眠りが増えたり、白血球中の成分に変化が見られたそうです。この変化はストレスに対する抵抗力をつけるための働きで、体の防衛反応の一種

です。しかし、騒音が高くストレスが強すぎれば適応できず、長く続くと病気を引き起こすことも考えられます。また、二十分ごとに騒音を十ホンずつ大きくしていく実験では、脳波は五十ホンから、血液は四十ホンから変化が見られ、音が大きくなるにつれていろいろな影響が生じてくるということが確認されています。わたしたちが、ぐっすりとお持ちよく眠るためには、四十ホン以下の静けさを一晚中保つ必要があるようです。

教育だより

小鳥の森
大原小学校



巣箱をとりつける児童

どの姿も見られるようになりました。

さて、この日は、この小鳥の森に、餌箱と水飲み場を作ることになりました。

まず、体育館で、係の先生の説明を受けた後、さあ、いよいよ餌台作りです。

一メートル位の角棒の上に平らな板を打ちつけるだけの簡単なものでしたが、五年生、六年生の児童が中心となり、かなづちで角棒を打ちこむ子、台をとりつける子、えさになるミミズや虫を集める子、水を汲んでくる子など、みんな一生懸命にとりくみました。台ができあがると、さっそく

集めてきたえさを台の上にのせ、子どもらしい気づかいから、新しい木肌が小鳥を驚かせないようにと、枯れ草や枝



たくさんおいで小鳥たち

などで木肌をかくすなどの工夫もしました。

さあ、これから、どんな鳥
たちがやってくるのだろう、
子どもたちの瞳は、輝いてみ
えました。

周囲をぐるりと山々に囲まれた大原小は、本当に自然の懷に抱かれた学校です。目に痛いぐらい青々とした緑の木々、朝に夕に聞こえるかえるの歌、ちょっと耳をすますと、ほら、小鳥のさえずりも聞こえます。

この美しさ、自然の大切さを、しっかり子ども達の心にきざみつけていきたいものです。

新緑に燃える活動
田代中学校

桜並木の根生坂を、四十二名の新入生がはじめて登校し、早や二ヶ月余り経ちました。本年度は、一・二年生一クラス、三年二クラスと三組の計五クラスで、昨年度より一クラス減となつてしまいました。が、生徒は、多くの活動に「やればできる」の合言葉のもと、自ら意欲的に取り組んでいます。ここに、各学年の様子と、諸活動をお知らせします。

一年生は、重いカバンやへ



活動発表をする平石子ども会

め、育成者の皆さんもたくさん参加していただきました。

大会は、自立自興の精神にのっとり、すべて子どもたち自身の手で運営され、昨年肝属地区子ども会大会で事例発表をした長谷をはじめ、平石、麓住宅、中尾の各子ども会の活動発表、スライドを利用した本町子ども会の一年の歩み映画観賞など楽しい大会となりました。

子ども会活動は、子どもたちにもふるさと意識を育てるために大切です。

特に、中学生や高校生の皆さんは、子ども会のリーダーとして頑張って下さい。

また、育成者は、自分たちのふるさとの良さを子どもたちに教えて下さい。

町づくりの主役
永寿会の皆さん

あすの田代をつくる町民運動推進協議会では、自然を生かし活力のある町づくりに努めています。美しい郷土づくり部会（会長鶴園末吉さん）では、去る五月二十三日、町内のモデル花園を中心とした奉仕活動をしました。

川東・川西永寿会では、川原グラウンド周辺の花園の手入れと、各自用具をもちより草刈と除草をしました。グラウンドは地区住民みんなのもです。車などを乗り入れないで大切にしましょう。



川東・川西永寿会の皆さん

また、麓上永寿会は、開発センター周辺の花園の手入れをしました。みんな仲間と久しぶりにあい、親睦を深め楽

体育施設開放事業

しい汗を流しました。

町内では、子ども会や永寿会を中心に定期的に美化活動に励んでいます。各家庭でも庭先に花を植え明るい地域づくりに励みましょう。



麓上永寿会の皆さん

ルメット着用の自転車通学、ハードな授業など、学校生活にも慣れ、中学生らしくなりました。でも、小学校の校舎を眺めながら、高台の校庭に並び、弁当を食べている姿も見られました。

二年生は、四十三名という大所帯。昨年よりグンと伸びた伸長は、席に着くと、手足をこれ以上曲げられぬという格好で、教室内はひしめきあっています。生徒会、部活動の中堅として活動しています。

三年生は、最上級生としての自覚が急速に芽ばえてきました。今、一番の楽しみは修学旅行です。もう一つは、野菜の成長です。

ルメット着用の自転車通学、ハードな授業など、学校生活にも慣れ、中学生らしくなりました。でも、小学校の校舎を眺めながら、高台の校庭に並び、弁当を食べている姿も見られました。

二年生は、四十三名という大所帯。昨年よりグンと伸びた伸長は、席に着くと、手足をこれ以上曲げられぬという格好で、教室内はひしめきあっています。生徒会、部活動

の中堅として活動しています。三年生は、最上級生としての自覚が急速に芽ばえてきました。今、一番の楽しみは修学旅行です。もう一つは、野菜の成長です。

技術家庭の授業で「栽培」の教材で学習するために、荒地を耕し、薩摩いもの植付や、

夏野菜の種まきをし、収穫までの過程を学びます。班ごとに作業計画をたてて、朝夕、水まきや除草に、丹念に手入れをしています。給食時間や調理の材料として話題をまいてくれるでしょう。

生徒会では、交通安全週間期間中、生徒が各要所に交代で立ち、安全協会の西さんの指導を受けながら、安全に登校できるように早朝から活動しました。

定着しつつある活動の中に土曜日の四校時「強化体育」があります。昨年度完成したサーキットコース、校舎や根生坂を利用した一キロコース専門部対抗リレー等実施しています。特に専門部ごとのリレーでは、学年・学級を離れて編成されたチームですが、声援が一段と高くなり、力が入ります。「縦の輪」が広がっていくでしょう。

また、月に一回長距離走に挑戦しようという計画もあり、まず手初めに、男子四キロ、女子二・五キロを五月晴れの下、校外へ出て汗を流し、体力づくりに励みました。

新緑の芽ばえのように、生徒が着実に成長していくことを期待しています。

文化団体に参加しましょう



ひまわりグループの皆さん

文化協会総会

町文化協会(南園忠男会長 十七団体)の総会が、五月二十六日、町開発センターで盛大に開かれました。会場は生花に飾られやわらいだ雰囲気の中で開会され、昭和五十八年度事業報告、決算承認に引きつづき新年度の活動計画、役員改選などを審議しました。今年度は、活動目標に、会員相互の親睦とグループ活動の推進を掲げ、結成八年目を迎えた本協会の発展を誓いあいました。

また、新しい試みとして総会終了後、各文化グループの発表があり日頃文化の火を灯し続けている会員がアイディアをこらし、詩吟、民謡、民踊、寸劇などの出演があり楽しい一日でした。

発表の中で、ひまわりグループが、寸劇「板敷ばれ」を披露し拍手喝さいをあびました。昔の結婚式は、自分の家で行い翌日まで親族で後片づけをし、そのあとで、「板敷ばれ」といって太鼓、三味線に合わせて歌をうたい家族の繁栄を祝うということでした。

町民の皆さん、昔から「芸は身を助く」という諺があります。文化グループの会員として、楽しい人生を送ってみませんか。

巡回公演(声楽)

青少年に、すぐれた芸術を鑑賞していただくための県巡回劇場(声楽)が、五月八日、町開発センターで、町内の先生方をはじめ、小中高生約六



オペラ協会の皆さん

五〇名が参加して開かれました。

当日は、鹿児島オペラ協会の七名の先生方が来町され、からたちの花をはじめ、たくさん曲を歌っていただきました。子どもたちは、はじめて聞く本場の歌に感心していました。これを機会に音楽の勉強もすっかり頑張ってください。

社会教育関係新役員紹介

- 町PTA連絡協議会並びに校外生活指導連絡会
 - 会長 横原 徳明
 - 副会長 袖山 勝八
 - 書記会計 加治木 郁夫
- 婦人会連絡協議会
 - 会長 山下イヅ子
 - 副会長 中原ナル子
 - 会 計 安楽 道子
- 連合青年団
 - 団 長 安田 憲次
 - 副団長 表木 愛忠
- 子ども会育成連絡協議会
 - 会長 正木 敏之
 - 副会長 水尻 正志
 - 釘田 幸子
- 文化協会
 - 書記会計 迫 昭博
 - 会 長 南園 忠男
 - 副会長 岩崎 美義
- 体育協会
 - 会 長 右田 始
 - 副会長 池田 一雄
 - 書記会計 小園 一利
- 老人クラブ連合会
 - 会 長 鶴園 末吉
 - 副会長 岩崎 美義
 - 書記会計 岩下イトエ
- 高校生父母連絡協議会
 - 会 長 前之園良輝
 - 副会長 山田 栄一
 - 書記会計 瀬之口五男

スポーツ行事

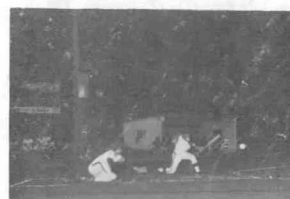
(1)町長旗争奪ソフトボール大会
町ソフトボール協会主催のナイターソフトボール大会が去る五月二十一日から二十三日の三日間、中央運動場で開催されました。

本大会の特徴は、独身女性二名を入れてチーム編成しなければなりません。これは、スポーツを通じて若者同志のふれ合いの場にしようと企画したものです。

結果は次のとおりです。

一日二汗運動図案募集
県では、かごしまの子ども一日一汗運動のポスター図案を募集しています。

町内の小学生、中学生、高校生の皆さん応募しましょう。詳しくは、各学校、教育委員会(電話 二五一一)へ問いあわせてください。



A級決勝戦

- A級 優勝 役場A
- 二位 田代球友
- B級 優勝 コンパニース
- 二位 辺善切ヤローズ

(2)第三回ゲートボール大会
町体協ゲートボール部主催のゲートボール大会が、五月二十七日開催されました。

当日は、雨天の中総勢十八チームが参加し熱戦を繰りひろげました。

結果は次のとおりです。

- 優勝 三共Cチーム
- 二位 町議会チーム